

防災通信 No.30

この通信はみなさんの防災意識を高めていただき、少しでも被害を小さく出来ることを目的に作成しています。ご意見等ありましたらおよせください。

(グリーンテラス本郷台自治会)

令和4年 横浜市救急概況

1月1日～6月30日までの速報です。

【救急出場件数、搬送人員いずれも過去最多に!!】

救急出場件数が113,227件で、前年同期と比べて18,482件(19.5%)増加し、搬送人員も91,832人で、前年同期と比べて11,897人(14.9%)増加し、いずれも過去最多を記録しました。

搬送人員の割合を年代別にみると高齢者が57.5%、傷病程度別にみると中等症以上が53.8%を占めました。

1日あたりの平均救急出場件数は626件で、前年同期の523件と比べて103件増加しました。

2分18秒に1回救急車が出場していることになります。(前年同期は2分45秒に1回)



【事故種別出場件数】

救急出場件数が多い事故種別は、「急病」79,103件(前年同期比14,303件増)、「一般負傷 ※」20,932件(同3,703件増)「転院搬送」5,439件(同292件増)、「交通事故」4,228件(同29件増)の順となりました。

※一般負傷とは、「労働災害や運動競技等に分類されない不慮の事故」をいい、住宅内での転倒・転落、やけど、熱中症等が該当します。

【年代別搬送人員】

前年同期と比べて全ての年代で増加しました。

搬送人員の年代別では、65歳以上の「高齢者」が52,779人(57.5%)18歳以上65歳未満の「成人」が29,912人(32.6%)、7歳未満の「新生・乳幼児」が5,923人(6.4%)、7歳以上18歳未満の「少年」が3,218人(3.5%)の順となりました。

今年は気象庁の統計開始以降、最も早い梅雨明けとなり、6月下旬に暑さ指数(WBGT)が31°C以上(危険)を記録するなど、熱中症の救急搬送が急増しました。

グリーンテラス本郷台にも最近頻繁に救急車が来ている現状です。中には消防車に救急隊が乗ってきたときもありました。救急車が足りなかったのでしょうか?その後、救急車が到着という状態です。栄消防署の方に伺うと今年はかなり大変だそうです。

【119番要請確認】

119番連絡は近くの消防署に電話が繋がると思っている方が意外と多いようです。

横浜市では119番連絡をすると保土ヶ谷にある消防指令センターに繋がります。その後、救急車の出場可能な近くの消防署に指令がいくことになります。ですから連絡は落ち着いて正確な住所を伝えてください。

スマートフォンでの連絡なら、GPS探知によりピンポイントで通報場所がわかるだろうと思う方も多いようです。しかし、現時点ではピンポイントで位置を把握することは不可能だそうです。

外出時には、電柱の掲示住所、信号機の下に明記してある地名、周辺の目立つ建物等を報告すると、わかりやすいようです。

【#7119のサービス】横浜市救急相談センター

急な病気やけがで、病院・診療所に行くか、救急車を呼ぶか迷ったときに救急電話相談（#7119）が対応してくれます。救急性が高ければそのまま119番へ転送し、そうでなければ病院や診療所を案内します。



119番通報は慌てずに、落ち着いて、正確に！

